

様式 1

三和中学校 第 3 回学校運営協議会 報告書

- 1 開催日時 令和 4 年 1 1 月 2 9 日 (火) 1 8 : 0 0 ~ 1 9 : 0 0
- 2 場 所 三和中学校 地域連携室
- 3 参加者 大小堀 祐也 金城美加子 久保田 暁 安谷屋 瞳 大小堀 祐也
金城 操 上原 大吾 安里 一樹 宮里 直哉 上原 正寛
大城 忍 瀬底 正栄 吉本 康王 山城 涉
欠席者 千葉 梨奈 宜保 馨

4 会議内容

(1) 委嘱状の交付・・・金城 操

(2) 学校より

① 2 学期の生徒の活躍、校内三線発表会（1 1 月 2 0 日）の報告

<三線発表会参観者からの感想>

- ・初めて学校行事に参加し生徒の様子を見ることができたが、クラス全員が三線を弾いていることに感激した。
- ・学校行事があるというのは素晴らしいと感じた。行事を通してクラスがまとまっている様子が見られた。
- ・去年も参観したが、今年は子供たちが更に上手くなっていると感じた。発表会の雰囲気はもちろん素晴らしいが、授業中や放課後、音楽室から「三線の音色」が聞こえる学校の雰囲気はとても穏やかで良い。いい学校だなと感じる。

②校則見直しについて

1 0 月 1 4 日の対話会（教師・生徒・保護者の代表 計 1 5 名）、職員会議を経て、以下の 3 つの改正案を報告

○髪型規定

男女とも常に清潔にし、その場で高校入試等に対応できる髪型であること

○学校指定ジャージでの登校に関して

ジャージ登校の際は、学校指定ジャージまたは上下体育着を着用すること。

また、暑ければ校内でジャージは脱ぎ、体育着で過ごしてよい。

○ストレートパーマの許可制に関して

くせ毛等でストレートパーマをあてる際は、保護者と相談し、許可申請書に生徒氏名や理由等を記載し、担任に提出する。

※くせ毛整髪に係る本人の精神的、時間的な負担、家庭の金銭的な負担を考慮して「許可制」とする。

<対話会に参加した委員より>

対話会に参加した。とても和やかに学校と保護者、生徒が見直しについて前向

きに対話ができてとてもよかった。自分の学生の頃は見直してほしいという意見も通らない、言えなかった。今後も校則について意見が出てくると思うが、今回のように、三者が対話を重ねながら見直して行ってほしい。

③令和5年度の学校教育目標について

学校や地域の特色、生徒の実態を踏まえて、育てたい資質・能力を教職員全員で確認し、次のような教育目標を設定した。

「ふるさと三和を愛し、主体的に学び続け
お互いを尊重し合う 心身ともに健やかな生徒」

④学校近隣道路工事に伴い、登校時の安全見守り（立哨）の協力依頼

工事により、正門からプール駐車場にかけての道路で、送迎の車両や一般車両及び自転車通学生徒の安全確保のため、立哨員が必要であることを説明。

→2人の委員に協力いただくこととなった。今後、地域の方にも呼びかけをしてもらい、協力できる方を増やしていくこととなった。

5 熟議内容 今回の熟議のテーマ「卒業式での花束等の贈り物について」

<学校から>

贈り物をたくさんもらう生徒と何ももらえない生徒がでてしまい、学校としては好ましくないと考えている。皆さんの自由な意見を伺いたい。

<意見>

- ・卒業式に参加したことがなかったので、（式後、プレゼント贈呈等でごった返す正門付近の写真を見ながら）こんなことになっていることに驚いている。毎年、学校周辺に自粛を促す看板などが設置されているので、てっきりこのようなことは無いと思っていた。
- ・別の学校の保護者であるが、本校以外でもこのようなことはよく見られる。保護者としてもどうしたらいいのだろうと、考えてしまう。
- ・一昔前は、式後のメリケン粉や卵かけの対応に追われていた。現在は、そのようなことはないものの、プレゼントを過度に贈る光景が見られ、残念に思う。
- ・自粛を促すような看板設置、保護者への通知などをしても、なかなか減らない。でも、そのままにしておくと思える。
- ・学校から自粛や禁止としても過度な贈り物をしていることは、約束や禁止事項を守っていないことにおいては、以前のメリケン粉や卵かけと同じだと思う。
- ・正直に申し上げると、卒業生に贈り物をした経験がある。自分の子供が地域や部活動の保護者からプレゼントをしてもらったのに、自分はしない、というのは気まずい気持ちになってしまっている。
- ・私はプレゼントしないが、自分の子供だけ贈り物をもっていないのを見ると、正直つらい気分になる。プレゼントをあげた方がよかったのか、と思うことがある。
- ・卒業生から、プレゼント等を保護者や地域の方に催促することはないと思うが、もらえて嬉しいとは感じていると思う。でも、子供たちの中には、もらえない生徒がいることに心を痛めている生徒もいるのではないかと、思う。
- ・贈り物をするのではなく、これまでもやってきているように、地域や部活動で別日や

別の場所で、卒業を祝う会やプレゼントをする機会をつくってやればよいと思う。そのことを保護者や地域の方々にも引き続き理解、協力してもらう必要がある。

- ・保護者を含め、大人の意識を変えてもらうように対話を重ねていく必要があるのでは。
- ※具体的な対応策については議論できなかったが、意見交換の総論としては、現状は好ましいことではなく、保護者や地域の方々に引き続き理解を求めていく必要がある、となった。

6 その他

次年度の学校運営協議会の組織について（校長より）

会を重ねる毎に議論も活発になってきており、大変ありがたく心強く思っている。できれば次年度もこのメンバーで協議会を進めていきたい。

7 次回予定 令和5年2月28日（火）

運営協議会の様子

